



題字 (故) 林 邑一

第44号
平成20年3月31日
阿品台コミュニティ
事務局 (TEL39-4338)
阿品台地区人口・所帯数
平成20年2月1日現在
人口9,343人 男4,377人
女4,966人
世帯数3,529世帯
高齢化率17.3%
(参考:市平均20.7%)

「住みよい、楽しい街を目指して

阿品台コミュニティは

頑張ります！」

高齢・少子化、財政難等々と社会環境が激しく変化しており、コミュニティ活性化が一層求められております。

そこで、阿品台コミュニティの会長・副会長からコメントを頂きました。

阿品台コミュニティの抱負

会長 山本 治喜

昭和54年2月2日付けの航空写真が私の家の応接間に掛けてあります。現在の阿品台が阿品4丁目「フジタウン」と共に、住宅団地として造成が略完成し、入居者募集の緒に就いた頃です。県営住宅が5棟くらい建っています。1丁目、2丁目には住宅が点々と見えます。拙宅も3丁目の東南の角に小さく写っています。未だ山の手から青葉台に通じる道路は出来ていませんでした。更に広島

市内との交通網はバスが十分に計画され、バイパスを利用して県庁に真っ直ぐに通える様になっていました。その後の経過は、住民の皆様は大部分の方がご存知のように、着々と新居が建設され、活気あふれるニュータウンとなりました。そして昭和が終わり、平成も既に20年の春を迎えました。

航空写真は30年前の物となります。阿品台も年をとったのです。建物も道路も公園も整備され、本当に住みよい街に成ったつもりでいたら、住

宅、住んでいる人達。自分たちが30年をとってしまいました。今、町内を回りますと、大きな住宅に売り家の看板が出ています。小学校の児童数も激減し、子供会も半分以下になり、遠慮勝ちな活動になっていきます。年をとるとゆう事は、こんなにいい物だったのか、こんなに辛い物だったのか、当たり前の事が眼の前に来てしまいました。

教育。これには関口文化部長さんの出演も有りました。子供たちの目の輝きが違っていました。勿論、耳も動いておりました。

今まで、コミュニティの活動を、一生懸命にやって来て頂いた役員、会員の皆さん、さてこれからどうしましょうか。確りと考えて頂きたい。組織は年をとる毎に、経験を積み、反省をしながら、成長をして参ります。構成員が経験を積み、新しい構成員を育て、申し送り、従来にも増して、活発な、役に立つ活動が出来ます。今、コミュニティの各部で考え、実行して頂いている事業に、更に新しい内容や課目を加えて、充実した物にしていきたい。

今年の1月後半に、阿品台東小学校でお母さん方への料理講習が正味2時間ありました。子供たちへの朝食、夕食を如何に手際よく、美味しく、栄養価値の有るものにするか。素晴らしい講習会でした。男は私一人。こんな講習会を又是非やってほしい。更に、その日の午後は、尺八と琴の

毎年、各部で、前年度の行事などの反省をし、他所のコミュニティや町内のことを見聞し、新年度の計画を練って頂いています。自分が当番だから、面倒だから前の通りで行こう、一寸気に食わないが、余り言う嫌われるから。仲良くするのも大事だしね。等と、自分に妥協していませんか。仲良くしたり、協力したりしなければ、共同作業は出来ません。然し、妥協と協調とは違います。正直に、真っ直ぐに、自分に与えられた役目を真剣にやっていきたい、やって頂きたいと思えます。役に就いた方も、役を引いた方も、皆が会長になったつもりでコミュニティを育てて参りましょう。そこから、コミュニティが育って参ります。自身自身の反省を込めて、一言やる気で申しました。



文化部

フレッシュ音楽祭

- と き:平成20年3月16日(日)
- ところ:阿品台公民館

地域の音楽家を目指す方々を応援する目的で「フレッシュ音楽祭」を初めて開催しました。小学生14組のピアノ演奏がありました。幅広いより多くの出演者を次回は期待しています。

青少年部

夜回り

(子供と一緒に町内パトロール)

- と き:平成19年11月10日(土)
(午後)5:45~7:30

- ①一丁目コース
- ②二・三丁目コース
- ③県営西・四丁目コース
- ④五丁目・グランドヒルズコース

ハッピーを着て、拍子木を叩きながら「火の用心」の呼びかけをしながら町内をパトロールしました。

子供たちは、日頃大きな声を出すと怒られるせいか、「大きな声を出すのが楽しかった」そうです。最後に、参加した子供にはお菓子が配られました。

ドッジボール大会

- と き:平成19年12月1日(土)
(午前)8:45~12:00
- ところ:阿品台西小学校・体育館
- 参加チーム:
西小学校41人・東小学校6人・中学校から40人
合計9チーム87名が参加
- 成績:<優勝>西小学校Bチーム(小学校)
ドッジファイターズ(中学校)

とんど

- と き:平成20年1月13日(日)
(午前)11:00~
- ところ:阿品台二丁目公園
- 参加人数:子供35人・大人22人 合計57人

「阿品台で育つ子供達に思い出作りを」をコンセプトに、伝統行事である「とんど」が毎年行われています。

書き初め・しめ飾り・箸・おわんを持参して、参加してもらいました。まず初めに、干支の年男・年女がとんどに点火して、とんどの由来を子供達に話します。最後にぜんざいを皆で食べて、楽しいひと時を過ごしました。



料理教室(楽しくクッキング)

- ところ:阿品台公民館調理室
(午前)9:30~12:30

平成19年12月8日(土)

バターライス、カリフラワーのポタージュ、ショートケーキ、ハウス型ミートローフ、ブロッコリーのスティックサラダ

平成20年1月26日(土)

ソーダブレッド、クリームシチュー、野菜サラダ、チョコボール

平成20年2月23日(土)

ひなずし、おすまし、青菜のごま和え、杏仁豆腐

季節感を感じさせるメニューです。食事をしながら、作った料理の栄養素を勉強しています。

ミニバスケットボール大会

- と き:平成20年2月16日(土)
(午前)9:00~12:00

- ところ:阿品台東小学校・体育館

東小学校14人・西小学校2人・中学校から23人が参加して行われました。小学生に「バスケットボールに親しんでもらおう」と、東小学校の長野先生と阿品台中学校のバスケット部員が、小学生にミニバスケットのルールやドリブル・シュート等の実技指導をしながら練習をした後、チームに分かれて対抗戦をしました。



登校時のあいさつ運動(年間)

- 毎週水曜日<登校時>
- ①阿品台公民館横・横断歩道
- ②同上 公民館前・陸橋
- ③同上 一丁目横断歩道
- ④阿品から阿品台三丁目への階段
- ⑤阿品公園前
- ⑥乙坂

緑のたすきを掛けて立っています。学生の皆さん、元気よく大きな声で挨拶をして下さいね。

婦人部

三ツ星料理人
北岡三千男先生のおせち料理

- と き:平成19年11月25日(日)
- ところ:阿品台公民館



岩国すしを作らしましょう

- と き:平成20年3月21日(金)
- ところ:阿品台公民館

文化部共催

ワインとジャズの夕べ
杉山ルミ子・岸永健二さんによる
ジャズコンサート

- と き:平成19年12月21日(金)
- ところ:阿品台公民館

今年もたくさんの人々が出席のもと、地元のジャズピアニスト杉山ルミ子さんと岸永健二さんのトロンボーンでのジャズの夕べ。二部ではお客様のリクエストによるなつかしいオールデイズも。



福祉部

ふれあい昼食会

- と き:平成19年11月9日(金)
(午前)8:30~17:30
- ところ:温泉リゾート「風の国」
(島根県江津市桜江町)
紅葉の断魚溪・道の駅「瑞穂」

皆さん(参加者38名)と一緒に観光や昼食を取りながら、お話をしたり歌ったりの楽しい、ひと時を過ごしました。



グラウンドゴルフ大会

- と き:平成19年12月1日(土)
- 参加者:84名
- ところ:東小学校グラウンド

雨天で延期されていた大会が12月1日、男女合わせて84名が東小学校グラウンドに集合、16組に分かれてプレーし、二丁目の萬谷尠夫さんが53のスコアで優勝しました。



選挙	有権者数 (H19年7月 29日現在)	投票率(%)						
		参議院 議員	衆議院 議員	広島県 知事	広島県議会 議員	廿日市 市長	廿日市 市議会議員	
実施日	—	H19.7.29	H17.9.11	H17.11.6	H19.4.8	H19.10.21	H17.3.27	
場所	阿品台地区	7,528	51	61	20	40	33	51
	宮園公民館	5,003	57	67	23	48	39	61
	廿日市地域	60,434	60	70	25	49	42	55
	広島市全体	923,270	54	64	21	54	—	—
	東広島市全体	139,980	54	68	23	47	—	—
	広島県全体	2,331,530	57	68	27	54	—	—
全国	103,710,035	59	68	—	—	—	—	

1. 阿品台地区は東・西小学校の投票所の合計の値
2. 廿日市地域は旧廿日市市区域の合計の値

「投票率の比較」
政治には多くの皆さんが関心を持たれていると思います。では、「具体的にどの程度関心があるか」ご存知ですか？そこで各種選挙の投票率を他地域と比較してみました。

データで見る阿品台

コミュニティの

新しい取り組み

副会長 平田 文孝

再生「阿品台コミュニティ」

はじめに、日頃の阿品台のコミュニティ活動に対する皆様方の献身的な協力に対し、心より御礼申し上げます。お陰様をもちまして昭和53年より慣れ親しんだ「阿品台コミュニティ」をすすめる会の名称も卒業をむかえ、「阿品台コミュニティ」として再出発することになりました。未熟の段階からここまで見守り育てて頂いたのもひとえに阿品台を良くして行くこととする皆様方のお力あつてのことと思います。現在の活動事業計画の骨組みは、平成15年に推進プランとして纏められました。スローガンとしては「快適で住みよい文化の薫るまちづくり」であり6分野に纏められています。①環境保全、②福祉の充実、③文化の振興、④青少年の健全育成、⑤スポーツ活動の充実、⑥防犯と防災、これらの目標について、地道な活動により、着実に成果をあげられているは皆様ご存知のとおりでございます。

防犯・防災への取り組み

各分野の中で、コミュニティ全体で取り組んでいなかったものが防犯・防災です。幸いなことに平成11年「地域安全協議会」が浜崎副会長（連合町内会長）を中心に結成され、防犯・防災に努力され成果をあげておられます。コミュニティも防災元年として今年から防災に取り組んでみたらどうかと思います。この両者は競合的な関係でなく、相補的な関係として位置付けることが大事です。私自身も防災の観点からは系統的に学習することもなく、阿品台の防災について非常に

貧弱な知識しか持ち合わせておりません。平時において非常時に備えるというのは私のような凡人には捉え難く、具体的なイメージになつてまいりません。創造を超えた困難に直面したとき、解決につながる知恵と手段を自分のものにする必要があります。人まかせにしないで、我々一人一人が賢くなつて力を合わせてこそ未知なる困難に立ち向かえるのです。自分の身は自分で守るといふ基本的なところから出発し、自分たちの身は、自分たちで守るといふコミュニティにしたいものです。特に震災の時は、道路も壊れて不通となり、同時多発火災の発生など消防水利用も不足するため、救急車も消防車も機能不全となる可能性があります。こんな時やはり頼りになるのは隣近所の力です。

かつた長田地区は、コミュニティが非常に良いところでした。向こう三軒両隣りは大事であり、平日頃よりお付き合いは疎かにできません。「防災において地域コミュニティを良くしましょう」と皆さんおっしゃいます。ですが、コミュニティが良ければいいかというところだけでは駄目なのです。良いコミュニティをつくって、それをどうやって家を強くし、町を強くするかという議論を実際に進めていかないと災害被害は減らせません。コミュニティが良いだけでは、防災に関しては、結局のところコミュニティ自体が崩壊するということを理解して頂きたい。目からウロコとはこのことです。

「阿品台防災マニュアル」を

阪神大震災の時、家の下敷きとなつた人は3万5千人おられました。2万6950人を助け出したのは、家族や隣近所の人でした。被害の最も多

阿品台の防災に関してコミュニティ一丸となってグラウンドデザインを描いておくことは、「命と生活を守る」という基本から考えても大事です。地域の皆様と共に文化部・婦人部・体育部・福祉部・青少年部・広報部・総務部の各々が更に連携を深めそれぞれの分野で取り組み、勉強・学習の成果として「阿品台防災マニュアル」（小冊子）を作ろうではありませんか。

